

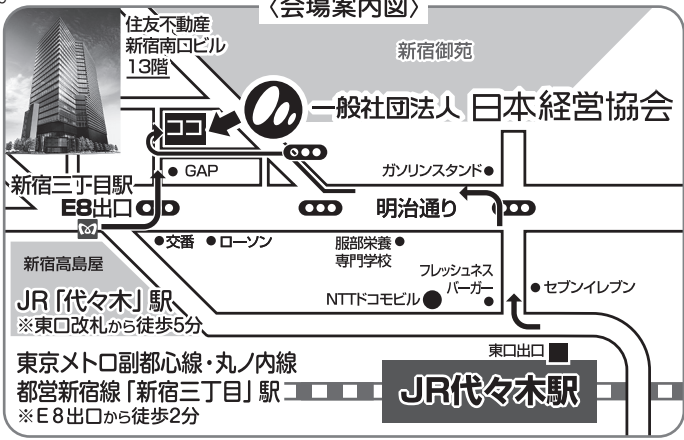
記

日時：【A】令和7年9月24日(水)13:00～17:00
9月25日(木)10:00～17:00
9月26日(金)10:00～16:00
※【A】【B】全日程参加の場合は料金が変わります。
下記を参照ください。

受付開始時間

【A】または全日程参加 9月24日(水)12:30～
【B】のみ参加 9月26日(金) 9:30～

会場案内図



講師：税理士 小川 正己氏

参加方法：[会場参加] 日本経営協会内専用教室
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-31-11
(住友不動産新宿南口ビル 13 階)
[オンライン参加] Zoom による Live 配信

参加料：(負担金)

日程	会員参加料 (1名、税込)	一般参加料 (1名、税込)
【A】のみ(2日間)	36,300 円	39,600 円
【B】のみ(1日)	24,200 円	26,400 円
【A+B】(3日間)	46,200 円	50,600 円

申込方法： 本会ホームページから講座名を検索していただき、お申込みください。
※令和6年度より、FAXでのお申込みは廃止いたしました。
・講座開催日の約1か月前より順次、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。
・開催3営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。
・お申込みは5営業日前までをお願いいたします。
・定員になり次第締め切らせていただきます。受付状況は、本会ホームページからご確認ください。
キャンセル： お申込み後、キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。
会場参加の場合、開催日の3営業日前～前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセル・ご欠席は100%をキャンセル料として申し受けます。オンライン参加の場合は、開催日の5営業日前～当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。
その他： 参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。
○オンライン参加での留意事項
・オンライン参加の場合、セミナー実施3営業日前を目途に、ZOOM ID等をメールにてお知らせいたします。
・お申込みをいただいた参加者のみご受講をお願いします。お申込みをいただいていない方の配信閲覧は堅くお断りいたします。

お申込み
お問合せ先

 一般社団法人 日本経営協会

本部事務局 企画研修グループ
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-31-11
TEL(03)6632-7139
E-mail: tks@noma.or.jp URL http://www.noma.or.jp

(お問合せは平日の月曜日～金曜日の9:15～17:15をお願いいたします)

～家屋評価シリーズ～講座開催案内

6月30日～7月1日 家屋評価の仕組み「木造家屋の評価の基本実務」

9月24日～25日 【A】非木造家屋の評価基礎実務演習・不明確計算（初級）

9月26日 【B】軽量鉄骨造(居宅)ハウスメーカー建物の評価

10月23日～24日 小規模非木造家屋の評価演習

11月26日～28日 非木造家屋の評価演習+区分所有家屋の区分計算演習

1月22日～23日 家屋評価実務「建築設備の評価」

※令和6年度より、FAXでのお申込は廃止いたしました。
下記URLよりお申込みください。

https://www.noma.or.jp/seminar/tabid/138/Default.aspx

NOMA 講座

検索



NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION



NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION

資産税課長
税務課長
課税課長殿
税制課長
県(市)税事務所長

回覧

日経東発第60024308・60024309・60024310・
60024311・60024315・60024316号
令和7年5月15日

オンライン参加可能

一般社団法人 日本経営協会
理事長 引野 隆志

NOMA行政管理講座開催(ご案内)

～家屋評価演習シリーズ～

【A】非木造家屋の評価基礎実務演習・不明確計算（初級）

【B】軽量鉄骨造（戸建形式住宅）ハウスメーカー建物の評価

<【A】令和7年9月24日(水)・25日(木)／【B】令和7年9月26日(金)>

※【A】【B】いずれか、または両方(連続3日間)の受講も可能です。

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
本会の事業活動には、平素より格別なご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
家屋評価（特に非木造家屋の評価）は「難しい」、「わからない」といったイメージが根強くあるようです。また、「地域間での評価の不均衡」、「不透明な課税算定プロセス」等が納税者には理解しにくいものになっているとの指摘もあります。そのような中、自治体の評価担当者は、公正・公平な評価を行い、納税者に説明責任を果たすことが求められています。
そこで、本講座は、【A】では、非木造家屋評価を体系的に理解したうえで、説明責任を果たし、プロとして評価計算ができるよう、意匠図、建築設備の設計図書を確認しながら、各部分別の解説と事例演習より理解を深めていただきます。
【B】では、昨今ではプレハブ方式が主流となっている、大手メーカーの軽量鉄骨造住宅（戸建住宅）を設計図書・調査概況書等から評価計算をします。
公務ご多忙の折とは存じますが、この機会に関係者多数のご参加をおすすめ申し上げます。

敬 具

日時：【A】令和7年9月24日(水)13:00～17:00
9月25日(木)10:00～17:00
【B】 9月26日(金)10:00～16:00
※【A】【B】全日程参加の場合は料金が変わります。
下記を参照ください。

受付開始時間
【A】または全日程参加 9月24日(水)12:30～
【B】のみ参加 9月26日(金) 9:30～

講師：税理士 小川 正己氏

参加方法：[会場参加] 日本経営協会内専用教室
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-31-11
(住友不動産新宿南口ビル 13 階)
[オンライン参加] Zoom による Live 配信

参加料：(負担金)

日程	会員参加料 (1名、税込)	一般参加料 (1名、税込)
【A】のみ(2日間)	36,300 円	39,600 円
【B】のみ(1日)	24,200 円	26,400 円
【A+B】(3日間)	46,200 円	50,600 円

お問合せ先

 一般社団法人 日本経営協会

本部事務局 企画研修グループ
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-31-11
TEL(03)6632-7139
E-mail: tks@noma.or.jp URL http://www.noma.or.jp

(お問合せは平日の月曜日～金曜日の9:15～17:15をお願いいたします)

【A】非木造家屋の評価基礎実務演習・不明確計算（初級）

～鉄筋コンクリート造(事務所ビル)の評価計算の仕組みと設計図書からの拾い出しについて解説～

事務所ビルの不明確計算

I 各部分別の解説
構造部

1 主体構造部

（1）鉄筋コンクリート造

使用量が不明確なものの標準評点数について

- ① 標準評点数に含まれているもの
- ② 標準評点数に含まれていないもの

（2）屋根構造

（3）床構造

2 基礎工事

（1）地階のある建物・地階のない建物

- ① 根切の深さの判定方法について
- ② 杭の種類と評点数の算出方法

3 外周壁骨組

4 間仕切骨組

5 外壁仕上

6 内壁仕上

7 床仕上

8 天井仕上

9 屋根仕上

10 建具

11 部分別共通(塗装・吹付等の加算項目について)

※図面から各評点項目の仕上部分の拾い出しについて

※各評点項目の手計算による補正方法について

※標準評点数の算出方法

II 建築設備の解説

1 電気設備

（1）動力配線設備

※動力配線設備（1相2線・3線、3相3線について）

（2）電灯設備

（3）電話配線設備

（4）インターホン設備・ドアホン

（5）監視カメラ配線設備

（6）テレビジョン共同聴視設備

2 衛生設備

（1）給水設備

A給水主管（系統図の見方）

B受水槽（有効容量と呼称容量）

C増圧ポンプ機（ポンプ機の種類）

（2）排水設備

A排水主管（系統図の見方）

B排水ポンプ機

（3）ガス設備

（4）その他設備

A使用口 B便器 C洗面器

D洗濯流し・汚物流し

Eミニシステムキッチン

※戸建・集合形式住宅と事務所・店舗の補正計算の相違点について

3 空調設備

（1）中央熱源方式

（2）個別空調方式

※冷房能力の拾い方・設備図等による空調設備の評点付設について

※ダクトのあり・なしについて

（3）床暖房

（4）換気設備

4 防災設備

（1）火災報知設備

（2）避雷設備

（3）消火栓設備

5 運搬設備

エレベーター設備

III その他

1 仮設工事

2 その他工事

IV 評価演習

1 設計図書の見方

2 不明確計算による鉄筋コンクリート造（事務所ビルの評価計算）

【B】軽量鉄骨造（戸建形式住宅）ハウスメーカー建物の評価

～部分別の解説と評価計算の実務～

I 軽量鉄骨造（プレハブ式構造）建物
建物の意義及び構造

III 評価計算（演習）

II 部分別の解説

構造部

1 主体構造部

（1）軽量鉄骨造

（2）屋根構造

（3）床構造

2 基礎工事

3 外周壁骨組

4 間仕切骨組

5 外壁仕上

6 内壁仕上

項目別評点方式・総合評点方式

7 床仕上

項目別評点方式・総合評点方式

8 天井仕上

項目別評点方式・総合評点方式

9 屋根仕上

10 各部分別共通加算評点項目

11 建具

12 建築設備

項目別評点方式・総合評点方式

加算評点項目（給水・給湯設備・衛生設備冷暖

房設備・換気設備・運搬設備）

13 仮設工事

14 その他工事

講師紹介

税理士 小川 正己氏

2005年3月 東京都退職

同年 7月 小川正己税理士事務所を開設

持参物

<必ずご持参ください>

- ①電卓
- ②令和6基準年度 単位当たり標準評点数の積算基礎（固定資産税務研究会編／（一財）地方財務協会刊）
- ③令和6基準年度 固定資産（家屋）評価基準・再建築費評点基準表（固定資産税務研究会編／（一財）地方財務協会刊）
- ④三角スケール

【本講座のねらい】

～事例をもとに、非木造家屋評価の基礎を短時間で学ぶ集中講座！～

- 非木造家屋評価の仕組みについて、短時間で要点をしっかりと解説します。
- 手計算により、非木造家屋の評点付設の基本から補正係数の算出まで、評価計算できるよう解説します。
- 実際の計画図等を使用し、空調設備と動力配線設備について詳しく解説します。
- 事例家屋の評価計算（演習）を集中的に行い、明日からでも正確な評価計算を行えるスキルを修得します。